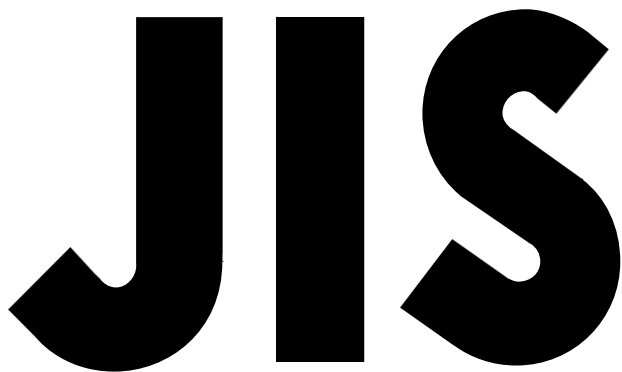




自転車用灯火装置

JIS C 9502 : 2021

(JBPI/JSA)

令和 3 年 3 月 22 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
(委員)	秋 山 進	株式会社デンソー（公益社団法人自動車技術会）
	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	伊 藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木 村 たま代	主婦連合会
	佐 伯 誠 治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐 伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	奈 良 広 一	長野計器株式会社
	久 田 真	東北大学
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 25.9.20 改正：令和 3.3.22

官 報 掲 載 日：令和 3.3.22

原 案 作 成 者：一般財団法人自転車産業振興協会

（〒590-0948 大阪府堺市堺区戎之町西 1 丁 3-3 TEL 072-238-8731）

一般財団法人日本規格協会

（〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530）

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会（部会長 酒井 信介）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	4
5 部品名称及び構成	5
6 灯火装置の配光及び光線の色	5
6.1 一般	5
6.2 前照灯の配光特性	5
6.3 尾灯の配光	8
6.4 灯火装置から放射される光線の色	9
7 発電ランプ	10
7.1 オープンシステム	10
7.2 クローズドシステム	11
8 電池式灯火装置	11
8.1 オープンシステム（一次電池及び二次電池）	11
8.2 クローズドシステム（二次電池）	11
8.3 低残量表示	12
8.4 一次電池	12
8.5 二次電池	12
8.6 スイッチ性能	12
9 環境性能	12
9.1 灯火装置の耐振動性	12
9.2 前照灯の耐衝撃性	12
9.3 灯火装置の温度性能	12
9.4 灯火装置の防水性	12
9.5 灯火装置の耐食性	12
9.6 灯火装置の温度サイクル性能	13
9.7 前照灯の高速運転性能	13
10 構造	13
11 外観	13
11.1 一般	13
11.2 塗装の密着性	14
12 試験方法	14
12.1 試験条件	14

	ページ
12.2 灯火装置の配光試験	14
12.3 灯火装置から放射される光線の色	15
12.4 オープンシステムの試験	15
12.5 クローズドシステムの試験	16
12.6 オープンシステム（一次電池及び二次電池）の試験	16
12.7 クローズドシステム（二次電池）の試験	16
12.8 耐環境試験	16
12.9 構造及び外観試験	18
12.10 表示の試験	19
13 表示	19
13.1 製品の表示	19
13.2 包装への表示	19
13.3 表示の耐久性	19
14 取扱説明書	20
附属書 A（参考）点滅光の測定	26
附属書 JA（参考）前方認識灯，制動灯，方向指示器及びスタンドライト	28
附属書 JB（参考）JIS と対応国際規格との対比表	34
解 説	37

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般財団法人自転車産業振興協会（JBPI）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS C 9502:2014** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

自転車用灯火装置

Lighting equipment for bicycles

序文

この規格は、2015年に第3版として発行された **ISO 6742-1** 及び 2015年に第1版として発行された **ISO 6742-3**～**ISO 6742-5** を基に、対応する部分〔前照灯の配光特性（すれ違い用配光及び走行用配光）、出力特性及び環境性能〕については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本産業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目〔前照灯の配光特性（汎用配光）、耐衝撃性、温度サイクル性能、構造及び外観〕を日本産業規格として追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JB** に示す。

1 適用範囲

この規格は、**JIS D 9111** に規定する自転車に取り付けて使用する自転車用灯火装置（以下、灯火装置という。）について規定する。

なお、この規格は、電動アシスト自転車のうち、駆動補助装置の駆動に使用する電池を前照灯及び尾灯の電源として併用するものには、前照灯及び尾灯だけで試験可能な項目だけを適用する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 6742-1:2015, Cycles—Lighting and retro-reflective devices—Part 1: Lighting and light signalling devices

ISO 6742-3:2015, Cycles—Lighting and retro-reflective devices—Part 3: Installation and use of lighting and retro-reflective devices

ISO 6742-4:2015, Cycles—Lighting and retro-reflective devices—Part 4: Lighting systems powered by the cycle's movement

ISO 6742-5:2015, Cycles—Lighting and retro-reflective devices—Part 5: Lighting systems not powered by the cycle's movement（全体評価：MOD）

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 1501 転がり軸受—鋼球

JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）